

HPはホームページ 区HPから、Eメールは電子申請が、PDFは申請書などのダウンロードが可 HPマークは、区HPで詳しい内容をご覧になれます

このたび、都営川島町アパート跡地を対象とした「(仮称)弥生町三丁目地区地区計画」(原案)をまとめたので、都市計画原案を縦覧します。
図書の縦覧 8月21日～9月3日に、区役所9階都市計画担当で
意見を出せる方 区域内の土地所有者及び都市計画法施行令第10条の4に規定する利害関係のある方
意見提出の方法 意見書(書

「(仮称)弥生町三丁目地区地区計画」都市計画原案図書を縦覧します
東部・南部防災まちづくり担当/9階
☎(32228)87774
FAX(32228)86436
区は、弥生町三丁目周辺地域の防災性向上や居住環境の改善に向けた防災まちづくりを進めています。

式自由。住所、氏名とふりがな、電話番号、利害関係のある方の場合はその理由も記入を郵送または直接、都市計画担当へ。9月10日必着
突出看板・日よけ等の設置及び屋外広告物の掲出には許可が必要です
道路占用・監視担当/8階
☎(32228)55555
FAX(32228)55554
人や車が安全に通行し、災害時には避難経路の役割を果たすため、道路に許可なく物を置くことはできません。

「(仮称)本町二丁目公園」の名称が決まりました
公園整備担当/8階
☎(32228)55553
FAX(32228)55557
区が整備を進めている、「(仮称)本町二丁目公園」(本町2-12-14)が10月ごろに開園します。

この公園の名称をみなさんから募集したところ、65人の方から140件の応募がありました。
地域のの方の意見を基にした選考の結果、名称は「本町二丁目公園」に決定しました。
ご応募ありがとうございました。

「(仮称)本町二丁目公園」の名称が決まりました
公園整備担当/8階
☎(32228)55553
FAX(32228)55557
区が整備を進めている、「(仮称)本町二丁目公園」(本町2-12-14)が10月ごろに開園します。

外国語版「中野区ごみ分別アプリ」のご利用を
ごみゼロ推進担当(リサイクル展示室内)
☎(32228)55556
FAX(32228)55554
収集日やごみの分別方法をスマートフォンなどで確認できます。日本語版の他に、英語・中国語(簡体字)・韓国語に対応した外国語版も配信予定です。

中野区ごみ減量キャラクター「ごみのん」のアイコンが目印
ごみ分別アプリのダウンロード
iPhoneの方はこちらから
Androidの方はこちらから

区施設へは、公共交通機関をご利用ください

「中野区平和の語り部 映像記録」を放映中

次世代に平和の大切さを伝えるため、戦争を実際に体験した方が語り部として、当時の様子を語る映像をご覧になれます。
視聴方法 中野区公式YouTubeチャンネル(区HPからもご覧になれます)
☆映像資料として区民団体等への貸し出しも行っていきますので、ぜひ活用を

平和の意味を考えるきっかけに、ご覧ください

- ◆8月の平和企画展示
「広島・長崎の原爆記録写真」
①3日(金)～15日(水)の平日午前8時半～午後5時、区役所1階区民ホールで
②17日(金)～30日(木)
中野駅ガード下ギャラリー「夢通り」東側で
◆13日(月)～15日(水)は
平和資料特別展示も
区役所1階特別集會室で開催。なお、区役所4階には、常設の平和資料展示コーナーもあります。こちらへも、ぜひお立ち寄りください。



▲爆心地とドーム



▲警報が鳴るたびに防空壕へ



▲学童疎開中、寺で授業を受ける児童

平和と命の大切さを語り継ぐ
平和への思いを未来へ

太平洋戦争終結から70年以上経ち、戦争を知らない世代が区民の大半となった今、当時の体験を直接聞く機会は少なくなっています。
若い世代が未来に向けて戦争の惨禍を語り継ぐためには、平和が当たり前ではなかった時代の体験者の声に改めて耳を傾け、貴重な記録に目を留めることが望まれます。
かけがえのない平和への思いを、未来へ伝えていきましょう。

8月15日は、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」です
先の大戦において亡くなられた方々を追悼し平和を祈念するため、8月15日(水)正午から1分間の黙とうをお願いします。
区の平和のシンボルマーク

8月15日は、戦争で犠牲になられた方々を追悼し、平和を願う日です。先の大戦では、中野区内でも度重なる空襲に見舞われました。特に昭和20(1945)年5月25日の山の手大空襲では、区内の大半が焼け野原となり、分かっているだけでも死者418人、負傷者1611人、全焼家屋は約2万戸に及ぶなど、戦争によってもたらされた被害は計り知れないものがありました。
終戦から73年が過ぎ、戦後に生まれた人が日本の人口の8割を超えた今日、戦争を体験した方は少なくなっています。戦争の悲惨さを次の世代に語り継ぐことを決して忘れてはなりません。中野区では、戦争の記憶を風化させず後世に伝え続けるべく、「平和の語り部」を区立中学校へ派遣するとともに、証言内容を映像化するなどの取り組みを継続して進めています。私たちは過去の歴史の教訓を深く胸に刻み、平和を願う区民の想いを未来につなげる責務があります。
戦後の日本は、平和の道を歩み、世界に貢献してきました。唯一の戦争被爆国として、核兵器の廃絶や平

中野区長 酒井直人